資料７（五島市商工雇用政策課）

「ながさき就職氷河期世代活躍支援プラン」に関する取組状況

取 組 年 度	令和３年度
交 付 金 事 業	地方就職氷河期世代支援加速化交付金事業
目　　標	【長崎県】 県人材活躍支援センターを中心に、地域若者サポートステーションと連携した就職氷河期世代の県内就職支援及び正規雇用への転換を促進するための事業を実施。（Ｒ２～Ｒ４年度） 【五島市】 就職氷河期世代の実態把握のためのアンケート調査及びキャリアコンサルタントによる個々の対象者の支援を実施。（Ｒ３～Ｒ４年度）

【令和３年度取組状況及び令和４年度取組概要等】

＜令和３年度取組状況及び課題＞

地域就職氷河期世代就労支援事業（五島市）

（１）調査事業

当市では、市内においてどの程度の就職氷河期世代が支援を必要としているのかを把握していなかったため、本事業を活用し実態を調査することとした。

調査方法としては、ハローワーク五島と連携し、求職登録をしている３６７名全員にアンケート調査票を発送し回答を得るものとした。

結果、有効回答数は８１件となり、そのうち就職氷河期世代に該当し支援を希望する者は最終的に４１名となった。

（２）就労支援事業

先の調査により支援を希望する就職氷河期世代の求職者に対し、五島若者サポートセンターなどを運営するNPO法人心澄（しんじょう）に就労支援業務を委託した。

支援にあたっては、キャリアコンサルティングを中心に実施。興味検査や職業適性検査、職業レディネステストなどにより対象者の状況を把握した上で、グループワークや職場見学などにより就労を推進。最終的に延べ360回以上の面談を実施した。

結果、令和3年度中（令和4年4月1日就職も含む）に10名が就労し、うち2名は正規就労者となった。

（３）課題

調査の結果、当初100名と想定した支援対象者が41名程度に留まったが、支援対象者は、これまで長く働いていなかったり、社会に出ていない方も多く、短期間で就労に繋げることは困難であった。対象者に合わせたきめ細かな支援を、より継続的に実施する必要があった。

＜令和４年度取組概要＞

令和４年度は前年の調査で支援を希望するとした就職氷河期世代の方に対し、継続して就労支援を実施する。

昨年度から支援を行っているが、短期間の支援では就労に結び付かなかった方が中心となるため、前年度以上にきめ細かな、それぞれの個性に応じた支援が必要であり、前年度に引き続きNPO法人心澄に委託して支援を行っている。

本年度は未就業の３１名への支援を中心に実施し、就職氷河期世代の安定した就労状態の確保・維持に務めるものとする。